

平成28年度下半期及び平成29年度の
城陽市障がい者自立支援協議会の取り組みについて

全体の取り組み報告

障がい者施設見学会

開催日：平成 28 年 11 月 24 日(木)

見学先：はっぴーすまいる

わいわいプラス寺田教室

ショートステイみんななかま

sun sun café (昼食)・あんだんて

南山城学園観音堂ホーム

！ - apartment

参加者：市民、民生委員、福祉事業所職員等

計 20 名

参加者の感想

- ・放課後デイサービスで、身近に発達障がいがあることを知った。これから、考えていくこともあると思う。為になった。
- ・イメージと違い、住宅街の中にグループホームがあることに驚いた。生活面でも自立できるためのサポートがあることが分かり、良かった。

はッピーすまいる



わいわいプラス 寺田教室 てらだきょうしつ



ショートステイみんななかま



城陽市役所南玄関前 じょうようしやくしよみなみげんかんまへ



はッピーすまいる



わいわいプラス寺田教室 てらだきょうしつ



ショートステイみんななかま



さんさんかふえ さんさんかふえ (昼食)・あんだんて ちゅうしょく



えくすくらめ-しよん-あぼ-とめんと えくすくらめ-しよん-あぼ-とめんと !-apartment

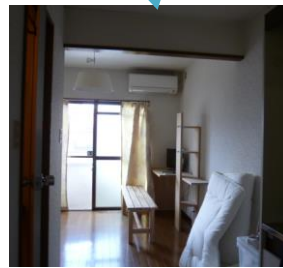


みなみやましろがくえん みなみやましろがくえん 観音堂ホーム かんのんどう

城陽市役所南玄関前 じょうようしやくしよみなみげんかんまへ



あんだんて



えくすくらめ-しよん-あぼ-とめんと えくすくらめ-しよん-あぼ-とめんと !-apartment



さんさんかふえ さんさんかふえ (昼食) ちゅうしょく



みなみやましろがくえん みなみやましろがくえん 観音堂ホーム かんのんどう

市民講座

視覚障がい者への理解

開催日：平成 29 年 2 月 10 日(金)

場 所：城陽市立福祉センター

協 力：南部アイセンター

参加者：市民、民生委員、福祉事業所職員等

計 24 名

内 容：実際にアイマスクを付けて動く体験をし、体験後、視覚障がいのある方から、個人で見え方に違いがあることやこんな風に声をかけてもらえたらといった、日頃、感じておられることをお聞きし、周りの者として、どんな配慮が必要なのかを考えました。

平成 29 年度 全体の取り組みについて

- ・ 市民講座 … 5 月、8 月、平成 30 年 1 月予定
- ・ 障がい者施設見学会 … 11 月予定

各部会の取り組み

サービス調整検討部会

地域支援部会

聴覚言語障がい支援部会

療育部会

就労部会

サービス調整検討部会 構成機関：20 事業所

第3回 平成28年11月11日(金)

- ・施設見学会：城陽作業所
- ・事例検討：障がい受容が難しい家族への支援
支援に拒否がある家族と、家族みんなに何らかの支援が必要では無いかという支援者側の意見。どのように支援していくのか？

参加：11 事業所

第4回 平成29年1月13日(金)

- ・施設見学会：心身障害者福祉センター
(生活訓練事業所ひまわり・障害者支援施設)
- ・事例報告：在宅復帰へ向けて
数年前に倒れられ、幼い子どももおり、自宅での生活は厳しく、入所。施設生活でADLの向上がみられ在宅復帰を目指している方の報告。

参加：15 事業所

平成29年度の取り組み予定について

障がい者施設を見学し、見学先で、事例検討や、報告を行っていく。

第3回平成29年1月27日(金)

事例検討：1年近く入院中だが、家族が自宅に戻ることを拒否し、膠着状態に陥っている30代半ばの精神障がいのある方について

グループホーム入居は資源の少なさもさることながら本人の強い拒否があり、独居も本人の持つ能力を考えると実現は困難である。本人、家族ともに歩み寄るためには、入院前と何ら変わらない状態での退院ではなく、訪問看護や短期入所など家族で抱え込まないための方策が必要ではないか。

本人の年齢が40～50代になると介護者も高齢化し、家庭内での支援力が低下することもある。在宅での生活を継続させるために30代のうちからどういった支援を入れることが効果的であると考えられるか、各事業所からの意見を参考に話し合った。

参加：7 事業所

第4回平成29年3月10日(金)予定

地域における自殺予防について

平成29年度の取り組み予定について

- ・引き続き実際の事例を通して支援のあり方の検討や制度、資源などの情報共有に取り組む。
新たに医療機関の構成員もしくはオブザーバー参加を募ることで福祉以外の視点からの意見が得られ、より一層の支援力の向上が期待できる。
- ・精神障がいに係る知識の普及、啓発など正しい理解を促進する取り組みを行う。

聴覚言語障がい支援部会

構成機関：当事者団体 2、支援団体 5、事業所等 2

* 難聴者、要約筆記の啓発について

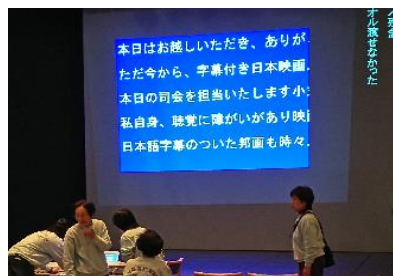
・ 日本語字幕上映会

11月6日(日)13時より文化パーク城陽にて、日本語字幕映画上映会を企画し難聴者や文字情報の必要性を市民に伝える取組を行うことになり上半期より準備を始めた。

映画は、「お兄ちゃんのハナビ」を上映することになり、字幕についてはDVDに付帯しているものではなく、要約筆記サークルの協力を得てその場ではめ込む方法を取るようになった。

・ DVD制作

部会を紹介するDVDを制作し映画上映前に観客に見て頂いた。また、当日は各当事者団体やボランティア団体の取組みの様子や手話言語条例のパネルを展示した。



第7回平成28年10月18日(火)

* 難聴者、要約筆記の啓発について

日本語字幕映画上映会の最終確認や呼びかけ状況などを報告。 参加：8団体・事業所

第8回平成28年12月6日(火)

* 難聴者、要約筆記の啓発について

- ・当日の来観者は108名、実行委員を合わせて130名となった。
- ・一般市民も多く来られており、関心の高さを感じることができた。 参加：8団体・事業所

平成29年度の取り組み予定について

* 緊急時の対応について

聴覚障害者への緊急時の手話通訳やFAXでの連絡方法の制度はあったが、内容が古くなってきたので部会の中で協議をする予定。

また、緊急搬送時に誰でもすぐに個人情報や服用している薬がわかるようにカプセルの作成の提案が部員よりあり併せて協議を行う。

療育部会

構成機関：13 事業所

第3回 平成28年11月4日(金)

特別支援教育コーディネーター会議での

教育と福祉の連携実践報告会

城陽市教育委員会にて、城陽市の市立幼稚園、小学校、中学校の特別支援教育コーディネーター（特別支援教育の窓口担当教諭）を対象に、年4回、資質向上、校内体制の充実のための研修を行っている。

その内の1回に療育部会が参加。城陽市内の子ども達が利用している福祉サービスの紹介と、教育機関と福祉事業所との連携事例について、教育機関と福祉事業所が合同で事例報告を行った。



参加：7 事業所

第4回平成29年1月19日(木)

放課後の過ごしについて

- ・学童保育所について
(子育て支援課より)
- ・各事業所の福祉サービス利用状況等情報交流

参加：12事業所

平成29年度の取り組み予定について

- ・放課後の適切な福祉サービス利用について考える。
- ・障がい児支援に必要な関係諸法令等について学ぶ。

就労部会

構成機関：12 事業所

第4回平成28年10月12日（水）

- ・ インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレットの作成
- ・ 案内パンフレットの配布に向けて
- ・ 事業所の就労の取り組み発表
(発表者：あっふ)
- ・ 城陽市福祉課へのインターンシップに向けて

参加：8 事業所

第5回平成28年12月7日（水）

- ・ インターンシップ パンフレット配布状況（「はあとウォームフォーラム2016」でのパンフ設置）
- ・ インターンシップ受け入れ企業獲得のための配布方法と役割分担の提案
- ・ 事業所の就労の取り組み発表
(発表者：はびねす)
- ・ 城陽市福祉課へのインターンシップ、実施時期の確認

参加：7 事業所

第6回平成29年2月1日（水）

- ・ インターンシップ受け入れ企業獲得のための、“訪問マニュアル”の作成、訪問にむけた役割分担の検討
- ・ 事業所の就労の取り組み発表
(発表者：宇治支援学校)
- ・ 平成28年度の振り返り、平成29年度の取り組みに向けて

平成29年度の取り組み予定について

パンフレットをツールにして、企業訪問を開始し、インターンシップ受け入れ企業の獲得を目指す。

